

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商 品 分 類	追加型投信／内外／資産複合		
信 託 期 間	2013年8月13日から2033年6月3日まで		
運 用 方 針	安定した収益の確保と信託財産の着実な成長を目指した運用を行います。 ・マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に、複数のインカムアセット（世界の高配当株式、債券等）に投資し、市場環境に合わせて機動的に資産配分の調整を行う投資信託証券や海外の債券等に投資する投資信託証券（以下「指定投資信託証券」といいます。）への投資を行います。 ・Aコース（為替ヘッジなし）の実質外貨建資産については、為替ヘッジを行いません。 ・Bコース（為替ヘッジあり）の実質外貨建資産については、原則として、為替ヘッジにより米ドルと円との間の為替変動リスクの低減を図ることを基本とします。 ・資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。		
主 要 投 資 対 象	当 ファ ン ド	シュローダー・インカムアセット・アロケーション・マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。	
	マザーファンド	・ルクセンブルグ籍米ドル建て外国投資法人「シュローダー・インターナショナル・セレクション・ファンド グローバル・マルチ・アセット・インカム クラスJ投資証券」 ・ルクセンブルグ籍ユーロ建て外国投資法人「シュローダー・インターナショナル・セレクション・ファンド ユーロ・リクイディティ クラスI投資証券」 ・ルクセンブルグ籍米ドル建て外国投資法人「シュローダー・インターナショナル・セレクション・ファンド ドル・リクイディティ クラスI投資証券」 上記の指定投資信託証券を主要投資対象とします。	
組 入 制 限	当ファンドのマザーファンド組入上限比率	制限を設けません。	
	マザーファンド	投資信託証券への投資割合には制限を設けません。また、外貨建資産への投資割合には制限を設けません。	
分 配 方 針	毎決算時（毎年6月3日。ただし、当該日が休業日の場合は翌営業日）に、原則として経費控除後の繰越分を含めた利子・配当収入と売買益（評価益を含みます。）等から、基準価額水準、市況動向等を勘案しながら決定します。 なお、分配を行わない場合があります。		

シュローダー・インベストメント・マネジメント株式会社

東京都千代田区大手町二丁目6番4号

<http://www.schroders.co.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

- ・ 投資信託営業部 電話番号 03-5293-1323
- ・ 受 付 時 間 9:00～17:00(土・日・祝日は除く)

シュローダー・インカムアセット・アロケーション（1年決算型）

Aコース（為替ヘッジなし）／Bコース（為替ヘッジあり）

愛称 グランツール1年

第13期 運用報告書(全体版)

(決算日 2026年 6月 3日)

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、「シュローダー・インカムアセット・アロケーション（1年決算型）Aコース（為替ヘッジなし）／Bコース（為替ヘッジあり）」は、2026年6月3日に第13期の決算を行いました。

ここに、謹んで期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

Schroders

シュローダー・インベストメント・マネジメント

Aコース（為替ヘッジなし）

○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 (分配落)	価 額			投 資 信 託 証 組 入 比 率	純 資 産 総 額
		税 込 分	み 騰 落	中 率		
	円	円		%	%	百万円
9期(2022年6月3日)	15,297	0	7.1		98.7	547
10期(2023年6月5日)	16,499	0	7.9		97.6	442
11期(2024年6月3日)	20,271	0	22.9		98.3	497
12期(2025年6月3日)	19,827	0	△ 2.2		97.7	435
13期(2026年6月3日)	25,236	0	27.3		98.1	498

(注) 基準価額、税込み分配金は1万口当たり。
(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。
(注) 当ファンドは、親投資信託を組入れますので、投資信託証券組入比率は実質組入比率で表示しております。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額		投 資 信 託 証 組 入 比 率
		騰 落	率	
(期 首) 2025年6月3日	円 19,827		% —	% 97.7
6月末	20,493		3.4	98.3
7月末	21,336		7.6	98.5
8月末	21,348		7.7	97.1
9月末	22,024		11.1	98.1
10月末	22,960		15.8	97.8
11月末	23,474		18.4	99.0
12月末	23,752		19.8	98.5
2026年1月末	23,986		21.0	98.1
2月末	24,546		23.8	98.0
3月末	23,766		19.9	98.0
4月末	24,759		24.9	98.7
5月末	25,008		26.1	98.1
(期 末) 2026年6月3日	25,236		27.3	98.1

(注) 基準価額は1万口当たり。
(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。
(注) 当ファンドは、親投資信託を組入れますので、投資信託証券組入比率は実質組入比率で表示しております。

(注) 当ファンドは、親投資信託を通じて、主に有価証券に投資する投資信託証券への投資を行い、複数のインカムアセット（世界の高配当株式、債券等）に実質的な投資を行います。
当ファンドの値動きを表す適切な指標が存在しないため、ベンチマーク等は設けておりません。

Bコース（為替ヘッジあり）

○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 (分配落)	価 額			投 資 信 託 証 組 入 比 率	純 資 産 総 額
		税 込 分	み 騰 落	中 率		
	円	円		%	%	百万円
9期(2022年6月3日)	10,350	0	△ 9.4		99.2	221
10期(2023年6月5日)	9,933	0	△ 4.0		97.6	201
11期(2024年6月3日)	10,352	0	4.2		99.9	193
12期(2025年6月3日)	10,569	0	2.1		95.8	181
13期(2026年6月3日)	11,674	0	10.5		98.8	83

(注) 基準価額、税込み分配金は1万口当たり。
(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。
(注) 当ファンドは、親投資信託を組入れますので、投資信託証券組入比率は実質組入比率で表示しております。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額		投 資 信 託 証 組 入 比 率
		騰 落	率	
(期 首) 2025年6月3日	円 10,569		% —	% 95.8
6月末	10,753		1.7	98.2
7月末	10,819		2.4	99.2
8月末	10,987		4.0	97.0
9月末	11,158		5.6	99.6
10月末	11,216		6.1	100.8
11月末	11,256		6.5	100.8
12月末	11,367		7.6	99.6
2026年1月末	11,658		10.3	95.5
2月末	11,752		11.2	99.6
3月末	11,059		4.6	98.5
4月末	11,456		8.4	99.6
5月末	11,617		9.9	98.4
(期 末) 2026年6月3日	11,674		10.5	98.8

(注) 基準価額は1万口当たり。
(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。
(注) 当ファンドは、親投資信託を組入れますので、投資信託証券組入比率は実質組入比率で表示しております。

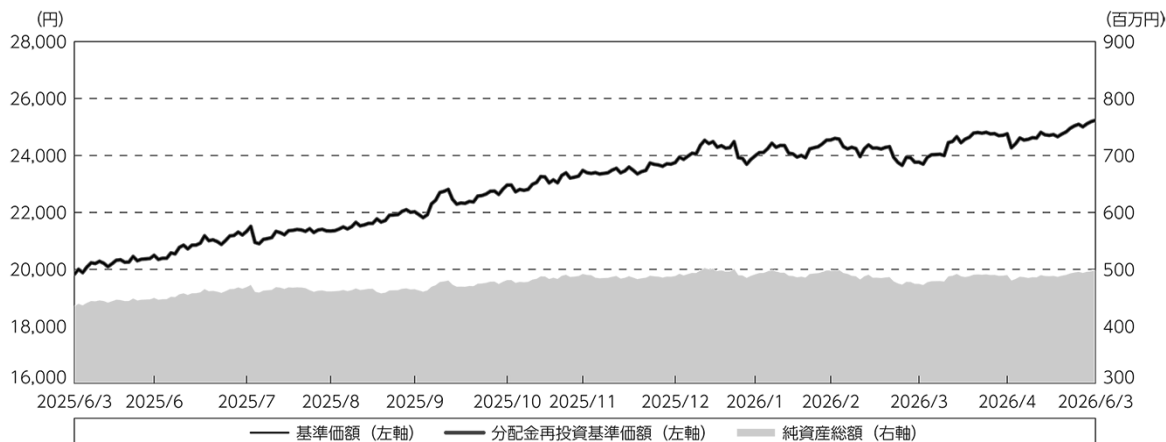
(注) 当ファンドは、親投資信託を通じて、主に有価証券に投資する投資信託証券への投資を行い、複数のインカムアセット（世界の高配当株式、債券等）に実質的な投資を行います。
当ファンドの値動きを表す適切な指標が存在しないため、ベンチマーク等は設けておりません。

Aコース（為替ヘッジなし）

○運用経過

（2025年6月4日～2026年6月3日）

期中の基準価額等の推移



期 首：19,827円

期 末：25,236円（既払分配金（税込み）：0円）

騰落率： 27.3%（分配金再投資ベース）

- （注）分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算しており、実際の基準価額と異なる場合があります。
- （注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- （注）分配金再投資基準価額は、期首（2025年6月3日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- （注）上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- （注）当ファンドの値動きを表す適切な指標が存在しないため、ベンチマーク等は設けておりません。

○基準価額の主な変動要因

期首19,827円でスタートした基準価額は、25,236円（分配後）で期末を迎え、期首比27.3%（分配金再投資ベース）の上昇となりました。

当期、マザーファンドの主要投資対象ファンド（米ドルベース）はプラスのリターンとなりました。

米国関税政策を巡る不確実低下や好調な企業業績の発表、人工知能（AI）関連分野の発展期待などを背景に投資家がリスク選好姿勢を強めたため、高配当株式の組入れはパフォーマンスにプラスに寄与しました。債券資産については、リスク性資産が堅調に推移する環境下、投資適格社債やハイイールド債券、新興国債券の保有が総じてプラス効果となりました。

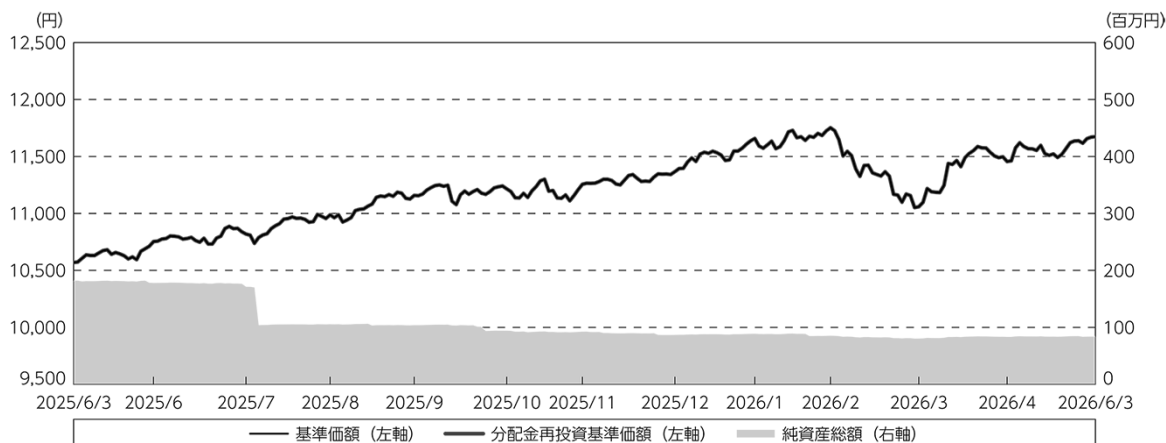
当期、円が対米ドルで下落したこともプラス要因となり、為替ヘッジを行わない当ファンドの基準価額（分配金再投資ベース）は上昇しました。

Bコース（為替ヘッジあり）

○運用経過

（2025年6月4日～2026年6月3日）

期中の基準価額等の推移



期 首：10,569円

期 末：11,674円（既払分配金（税込み）：0円）

騰落率： 10.5%（分配金再投資ベース）

- （注）分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算しており、実際の基準価額と異なる場合があります。
- （注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- （注）分配金再投資基準価額は、期首（2025年6月3日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- （注）上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- （注）当ファンドの値動きを表す適切な指標が存在しないため、ベンチマーク等は設けておりません。

○基準価額の主な変動要因

期首10,569円でスタートした基準価額は、11,674円（分配後）で期末を迎え、期首比10.5%（分配金再投資ベース）の上昇となりました。

当期、マザーファンドの主要投資対象ファンド（米ドルベース）はプラスのリターンとなりました。

米国関税政策を巡る不確実低下や好調な企業業績の発表、人工知能（AI）関連分野の発展期待などを背景に投資家がリスク選好姿勢を強めたため、高配当株式の組入れはパフォーマンスにプラスに寄与しました。債券資産については、リスク性資産が堅調に推移する環境下、投資適格社債やハイイールド債券、新興国債券の保有が総じてプラス効果となりました。

当期、為替ヘッジを行う当ファンドの基準価額（分配金再投資ベース）は上昇しました。

投資環境

当期、世界株式は上昇しました。2025年6月に中東情勢の悪化等の影響により方向性の欠ける局面もありましたが、その後は、米国が各国と貿易協議を進展させたこと、一部米国経済指標の悪化を背景に米連邦準備制度理事会（FRB）の積極的な利下げ期待（9月の米連邦公開市場委員会（FOMC）で利下げを再開）が広がったこと等から投資家のリスク選好姿勢が高まり、7月以降は上昇基調を辿りました。11月は、A I 関連銘柄のバリュエーション高騰を巡る懸念が高まったことでボラティリティ（変動性）が高まる局面もありましたが、FRBが利下げを進展するとの見方や、A I を巡る投資家の期待感などが支援材料となり2026年2月下旬まで、上昇基調を維持しました。3月に入ると中東情勢の悪化に伴い下落する局面もありましたが、その後は中東情勢の解決に対する期待感やA I 分野に対する根強い期待感なども支援材料となり反発に転じ、株式市場は前期末比で上昇して当期を終えました。

債券については、米国では長期金利は前期末比で小幅に上昇（債券価格は下落）しました。2025年6月、中東情勢の悪化を背景とした安全資産需要の高まりなどから、米国長期金利は低下（債券価格は上昇）基調となりましたが、7月は投資家のリスクセンチメントの改善、米国の財政赤字に対する懸念から上昇する局面がありました。8月、米国雇用統計が労働市場の低迷を示唆したことでFRBの利下げ期待が高まり、米国長期金利は低下しました。その後も、FRBの利下げ期待の進展、次期FRB議長にハト派的な人物が選出されるとの憶測から低下基調となりました。その後、2026年3月には、中東情勢の悪化を背景とした原油価格の上昇、それに伴うインフレ警戒感から、金利は大幅に上昇し、最終的に前期末比で小幅な上昇となり当期を終えました。日本やドイツでは長期金利の上昇幅は相対的に大きくなりました。欧州では防衛費増額や国債発行増額に対する注目が高まっているほか、欧州経済の輸入エネルギーに対する依存度の高さを背景に原油価格の上昇がインフレを招くとの見方が強まり、欧州中央銀行（ECB）による利上げ観測が進展しました。日本では自民党総裁選挙で高市氏が勝利し同氏が掲げる積極的な財政政策から財政悪化懸念が高まったほか、日本銀行がビハインドザカーブに陥る（後手に回る）との警戒感も浮上しました。

当ファンドのポートフォリオ

シュローダー・インカムアセット・アロケーション・マザーファンドにおいて、投資比率が高位であるシュローダー・インターナショナル・セレクション・ファンド グローバル・マルチ・アセット・インカム クラスJの運用について

当期、高配当株式については継続的にエクスポージャーの調整を行いました。2025年6月、トランプ政権による規制緩和、高金利環境が追い風になると判断して、米国金融セクター株式を組み入れたほか、7月には相対バリュエーションからドイツ株式において大型株式から中型株式に入れ替えを行いました。8月には米国株式において、情報技術セクターからディフェンシブ性を評価した公益事業セクター株式に一部入れ替えを行ったほか、10月には一部の新興国株式を米国ヘルスケアセクター株式に入れ替えしました。12月、利益確定を企図して金鉱株式の保有を一部削減しました。2026年1月、日本株式の一部を欧州防衛関連株式に入れ替えしました。欧州での防衛費拡大から長期的に需要が増し、堅調な成長につながると判断しました。また、大型ハイテク銘柄から資金シフトが発生した際に恩恵を受けるとみて、米国小型株式のポジションを追加しました。2月には、日本の銀行関連株式を削減し利益確定を行いました。4月には、バリュエーション上の割高感が緩和したとみて、米国情報技術セクターの組入比率を引き上げたほか、イールドカーブのスティーピングから恩恵を受けると期待し、米国金融セクターに対しても追加投資を行いました。また、5月には欧州銀行セクター株式へ投資を行いました。

債券については、2025年7月、マクロファンダメンタルズが改善し、インフレも安定傾向にある新興国のソブリン債（現地通貨建て）を積み増したほか、米国労働市場を巡る懸念が高まった8月に米国ハイイールド債券のエクスポージャーを一部削減しリスクヘッジを行いました（その後、9月にヘッジを解消）。11月中には、米国ハイイールド債券の保有を一部削減し、米国投資適格社債に入れ替えを行いました。その後、2026年1月に米国デュレーションを削減したほか、3月にハイイールド債券の保有を一部削減しました。

作成基準日：2026年5月29日

マザーファンドの投資対象ファンドである
「シュローダー・インターナショナル・セクション・ファンド グローバル・マルチ・アセット・インカム」

■ ポートフォリオ利回り

	利回り
高配当株式	2.6%
債券	9.4%
その他インカムアセット	5.8%
ポートフォリオ全体	6.3%

・ 利回りの計算は委託会社の見解に基づき行っています。

■ 資産配分比率

	比率
高配当株式	43.0%
債券	39.0%
その他インカムアセット	12.7%
キャッシュ等	5.3%
合 計	100.0%

■ 通貨別構成比

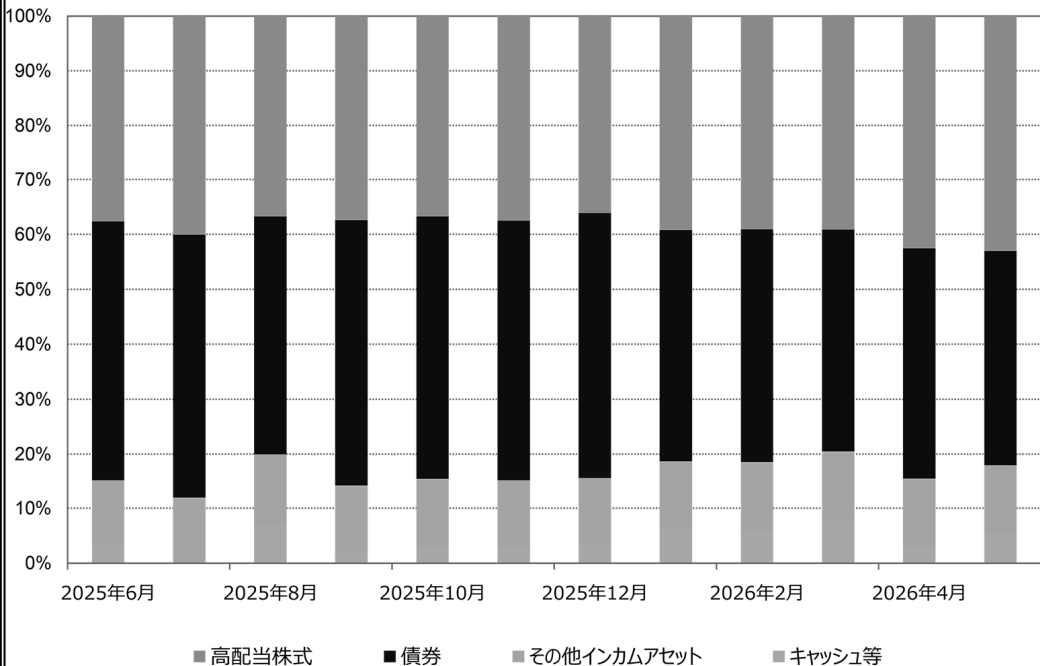
通貨	比率
米ドル・その他先進国通貨	88.0%
新興国通貨	12.0%
合計	100.0%

■ 地域別構成比

地域	比率
北米	40.8%
欧州	21.0%
新興国	16.3%
アジア・オセアニア	11.9%
英国	4.7%
その他	5.3%
合計	100.0%

■ 過去1年間のポートフォリオ利回り（上段）と資産配分比率（下段）の推移

2025年							2026年				
6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
6.1%	6.3%	6.0%	6.2%	6.0%	5.9%	6.0%	5.9%	5.9%	6.9%	6.5%	6.3%



※「キャッシュ等」は、先物、ヘッジポジション等を考慮して算出したものです。
※配分および構成比率について、四捨五入により合計が100%にならない場合があります。

当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドの値動きを表す適切な指標が存在しないため、ベンチマーク等は設けておりません。

分配金

Aコース（為替ヘッジなし）

収益分配金につきましては、基準価額水準、市場動向、信託財産の規模等を考慮し、当期の収益分配は見送らせていただきました。なお、留保益については、特に制限を設けず、当社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

○分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第13期
	2025年6月4日～ 2026年6月3日
当期分配金	—
（対基準価額比率）	— %
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	15,235

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

Bコース（為替ヘッジあり）

収益分配金につきましては、基準価額水準、市場動向、信託財産の規模等を考慮し、当期の収益分配は見送らせていただきました。なお、留保益については、特に制限を設けず、当社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

○分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第13期
	2025年6月4日～ 2026年6月3日
当期分配金	—
（対基準価額比率）	— %
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	6,439

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

○今後の運用方針

政治動向が引き続きニュースの見出しを支配しています。米国は当初、イランに対して無条件降伏を求めていましたが、現在ではホルムズ海峡の再開につながる一方で、イラン側にも金銭面を含むいくつかの「勝利」をもたらす合意に達しています。当運用チームでは2026年4月中旬以降、中東紛争およびそれに伴うガソリン価格の上昇が米国の有権者から非常に不評である点を踏まえ、トランプ大統領にはできるだけ早期にこの紛争を終結させたい意図が働くだろうと想定しました。中間選挙が近づく中、共和党は下院のみならず上院も失うリスクに直面しています。この状況が、トランプ大統領に今回の合意を受け入れさせた要因であると考えられます。また、中間選挙と金融政策の関係について考えることも重要です。FRBの新議長であるケビン・ウォーシュ氏は従来よりタカ派的な姿勢を示しているものの、トランプ大統領がウォーシュ氏を議長に任命した主な理由の一つは、より低い金利環境を実現することにあります。特に、トランプ大統領が生活費負担の問題に真剣に取り組んでいることを有権者に示す必要があり、住宅ローン金利の引き下げは、粗削りではあるものの効果的な手段となり得ます。こうした点を踏まえると、ウォーシュ氏は、自身のよりハト派的なスタンスを強く働きかける可能性が高いと考えられます。また、労働市場にさらなる弱さの兆候が見られれば、この目標を達成する可能性は一段と高まると考えます。総じて、中東紛争の終結とハト派的なFRB議長という組み合わせは、株式市場にとってポジティブな要因であると考えられます。

Aコース（為替ヘッジなし）

〇1万口当たりの費用明細

（2025年6月4日～2026年6月3日）

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 331	% 1.430	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(127)	(0.550)	・ ファンドの運用判断、受託会社への指図
（ 販 売 会 社 ）	(191)	(0.825)	・ 基準価額の算出ならびに公表
（ 受 託 会 社 ）	(13)	(0.055)	・ 運用報告書等法定書面の作成、および受益者への情報提供資料の作成等
			・ 運用報告書等各種書類の交付
			・ 口座内でのファンドの管理、および受益者への情報提供等
			・ ファンドの財産保管・管理
			・ 委託会社からの指図の実行等
(b) そ の 他 費 用	25	0.110	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(0)	(0.002)	・ 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	(3)	(0.011)	・ 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ 印 刷 費 用 ）	(22)	(0.096)	・ 印刷費用は、印刷会社等に支払う運用報告書作成等に係る費用
（ そ の 他 ）	(0)	(0.000)	・ その他は、グローバルな取引主体識別子（L E I : Legal Entity Identifier）登録費用等
合 計	356	1.540	
期中の平均基準価額は、23,121円です。			

（注）期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

（注）各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

（注）その他費用は、このファンドが組入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

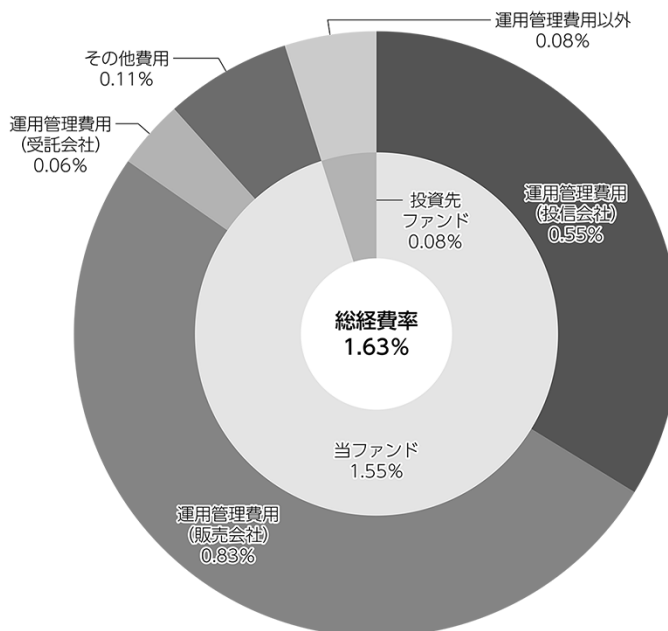
（注）各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券（親投資信託を除く）が支払った費用を含みません。

（注）各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.63%です。



(単位: %)

総経費率 (①+②+③)	1.63
①当ファンドの費用の比率	1.55
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	—
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.08

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドの親投資信託が組み入れている投資信託証券です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 投資先ファンドの費用については、投資先ファンドの管理会社が発行する年次報告書（アニュアル・レポート）の記載に基づきます。なお、投資先ファンドの運用管理費用（信託報酬）は当ファンドの運用管理費用（投信会社分）から支払われるため、別に収受しておりません。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

Aコース（為替ヘッジなし）

○売買及び取引の状況 (2025年6月4日～2026年6月3日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘	柄	設 定		解 約	
		口 数	金 額	口 数	金 額
		千口	千円	千口	千円
シュローダー・インカムアセット・アロケーション・マザーファンド		2,903	7,607	25,041	65,545

(注) 単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等 (2025年6月4日～2026年6月3日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細 (2026年6月3日現在)

親投資信託残高

銘	柄	期首(前期末)	当 期 末	
		口 数	口 数	評 価 額
		千口	千口	千円
シュローダー・インカムアセット・アロケーション・マザーファンド		193,677	171,539	502,045

(注) 口数・評価額の単位未満は切捨て。

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

○投資信託財産の構成 (2026年6月3日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
シュローダー・インカムアセット・アロケーション・マザーファンド	502,045	100.0
コール・ローン等、その他	13	0.0
投資信託財産総額	502,058	100.0

(注) 金額の単位未満は切捨て。

(注) シュローダー・インカムアセット・アロケーション・マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（2,986,543千円）の投資信託財産総額（3,051,019千円）に対する比率は97.9%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル＝159.99円です。

Aコース（為替ヘッジなし）

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2026年6月3日現在）

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	502,058,992
シュローダー・インカムアセット・アロケーション・マザーファンド(母基金)	502,045,591
未収入金	13,401
(B) 負債	3,759,696
未払解約金	13,401
未払信託報酬	3,485,707
その他未払費用	260,588
(C) 純資産総額(A－B)	498,299,296
元本	197,456,277
次期繰越損益金	300,843,019
(D) 受益権総口数	197,456,277口
1万口当たり基準価額(C／D)	25,236円

[元本増減]

期首元本額	219,645,480円
期中追加設定元本額	3,380,986円
期中一部解約元本額	25,570,189円

○損益の状況（2025年6月4日～2026年6月3日）

項 目	当 期
	円
(A) 有価証券売買損益	113,209,661
売買益	121,467,230
売買損	△ 8,257,569
(B) 信託報酬等	△ 7,340,509
(C) 当期損益金(A＋B)	105,869,152
(D) 前期繰越損益金	114,196,216
(E) 追加信託差損益金	80,777,651
(配当等相当額)	(79,498,969)
(売買損益相当額)	(1,278,682)
(F) 計(C＋D＋E)	300,843,019
(G) 収益分配金	0
次期繰越損益金(F＋G)	300,843,019
追加信託差損益金	80,777,651
(配当等相当額)	(79,530,114)
(売買損益相当額)	(1,247,537)
分配準備積立金	220,065,368

(注) 損益の状況の中で(A)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(B)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(26,974,075円)、費用控除後の有価証券等損益額(55,403,021円)、信託約款に規定する収益調整金(80,777,651円)および分配準備積立金(137,688,272円)より分配対象収益は300,843,019円(10,000口当たり15,235円)ですが、当期に分配した金額はありません。

○分配金のお知らせ

1万口当たり分配金(税込み)	0円
----------------	----

<分配金について>

- ・収益分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配金落ち後の基準価額が個別元本(受益者のファンドの購入価額)と同額または上回る場合は、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配金落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合は、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額は普通分配金となります。
- ・分配後の受益者の個別元本は、元本払戻金（特別分配金）の額だけ減少します。

Bコース（為替ヘッジあり）

○1万口当たりの費用明細

（2025年6月4日～2026年6月3日）

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 161	% 1.430	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	（ 62 ）	（0.550）	・ ファンドの運用判断、受託会社への指図
（ 販 売 会 社 ）	（ 93 ）	（0.825）	・ 基準価額の算出ならびに公表
（ 受 託 会 社 ）	（ 6 ）	（0.055）	・ 運用報告書等法定書面の作成、および受益者への情報提供資料の作成等
			・ 運用報告書等各種書類の交付
			・ 口座内でのファンドの管理、および受益者への情報提供等
			・ ファンドの財産保管・管理
			・ 委託会社からの指図の実行等
(b) そ の 他 費 用	15	0.129	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	（ 0 ）	（0.002）	・ 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	（ 2 ）	（0.020）	・ 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ 印 刷 費 用 ）	（ 10 ）	（0.091）	・ 印刷費用は、印刷会社等に支払う運用報告書作成等に係る費用
（ そ の 他 ）	（ 2 ）	（0.017）	・ その他は、グローバルな取引主体識別子（LEI：Legal Entity Identifier）登録費用、信託事務の処理に要するその他の諸経費等
合 計	176	1.559	
期中の平均基準価額は、11,258円です。			

（注）期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

（注）各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

（注）その他費用は、このファンドが組入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

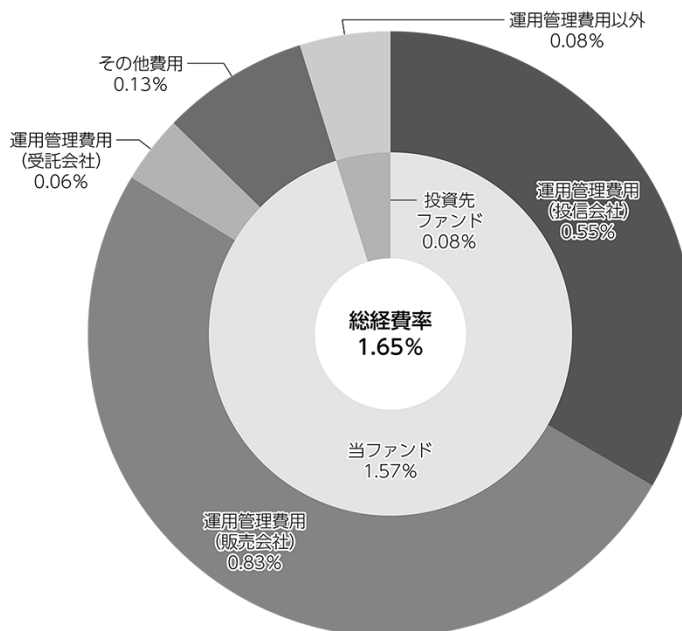
（注）各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券（親投資信託を除く）が支払った費用を含みません。

（注）各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.65%です。



(単位: %)

総経費率 (①+②+③)	1.65
①当ファンドの費用の比率	1.57
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	—
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.08

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドの親投資信託が組み入れている投資信託証券です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 投資先ファンドの費用については、投資先ファンドの管理会社が発行する年次報告書（アニュアル・レポート）の記載に基づきます。なお、投資先ファンドの運用管理費用（信託報酬）は当ファンドの運用管理費用（投信会社分）から支払われるため、別に収受しておりません。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

Bコース（為替ヘッジあり）

○売買及び取引の状況

（2025年6月4日～2026年6月3日）

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
シュローダー・インカムアセット・アロケーション・マザーファンド	1,841	4,869	52,212	129,174

（注）単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

（2025年6月4日～2026年6月3日）

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

（2026年6月3日現在）

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
シュローダー・インカムアセット・アロケーション・マザーファンド	79,360	28,989	84,844

（注）口数・評価額の単位未満は切捨て。

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

○投資信託財産の構成

（2026年6月3日現在）

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
シュローダー・インカムアセット・アロケーション・マザーファンド	84,844	99.8
コール・ローン等、その他	153	0.2
投資信託財産総額	84,997	100.0

（注）金額の単位未満は切捨て。

（注）シュローダー・インカムアセット・アロケーション・マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（2,986,543千円）の投資信託財産総額（3,051,019千円）に対する比率は97.9%です。

（注）外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル＝159.99円です。

Bコース（為替ヘッジあり）

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2026年6月3日現在）

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	168,679,349
シュローダー・インカムアセット・アロケーション・マザーファンド(母基金)	84,844,491
未収入金	83,834,858
(B) 負債	85,063,668
未払金	84,255,194
未払解約金	153,047
未払信託報酬	608,715
その他未払費用	46,712
(C) 純資産総額(A－B)	83,615,681
元本	71,627,532
次期繰越損益金	11,988,149
(D) 受益権総口数	71,627,532口
1万口当たり基準価額(C／D)	11,674円

〔元本増減〕	
期首元本額	172,098,329円
期中追加設定元本額	1,059,123円
期中一部解約元本額	101,529,920円

○損益の状況（2025年6月4日～2026年6月3日）

項 目	当 期
	円
(A) 有価証券売買損益	9,512,125
売買益	34,649,431
売買損	△25,137,306
(B) 信託報酬等	△ 1,655,257
(C) 当期損益金(A＋B)	7,856,868
(D) 前期繰越損益金	△ 557,351
(E) 追加信託差損益金	4,688,632
(配当等相当額)	(15,404,277)
(売買損益相当額)	(△10,715,645)
(F) 計(C＋D＋E)	11,988,149
(G) 収益分配金	0
次期繰越損益金(F＋G)	11,988,149
追加信託差損益金	4,688,632
(配当等相当額)	(15,408,905)
(売買損益相当額)	(△10,720,273)
分配準備積立金	30,714,437
繰越損益金	△23,414,920

- (注) 損益の状況の中で(A)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
- (注) 損益の状況の中で(B)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
- (注) 損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
- (注) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(4,169,010円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(15,408,905円)および分配準備積立金(26,545,427円)より分配対象収益は46,123,342円(10,000口当たり6,439円)ですが、当期に分配した金額はありません。

○分配金のお知らせ

1万口当たり分配金(税込み)	0円
----------------	----

<分配金について>

- ・収益分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配金落ち後の基準価額が個別元本(受益者のファンドの購入価額)と同額または上回る場合は、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配金落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合は、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額は普通分配金となります。
- ・分配後の受益者の個別元本は、元本払戻金（特別分配金）の額だけ減少します。

〈シュローダー・インカムアセット・アロケーション・マザーファンド 第13期〉

【計算期間 2025年6月4日から2026年6月3日まで】

信 託 期 間	無期限
決 算 日	毎年6月3日。ただし、当該日が休業日の場合は翌営業日
運 用 方 針	安定した収益の確保と信託財産の着実な成長を目指した運用を行います。投資信託証券（以下「指定投資信託証券」といいます。）を通じて複数のインカムアセット（世界の高配当株式、債券等）に投資し、市場環境に合わせて機動的に資産配分の調整を行います。
主 要 投 資 対 象	・ルクセンブルグ籍米ドル建て外国投資法人「シュローダー・インターナショナル・セレクション・ファンド グローバル・マルチ・アセット・インカム クラスJ 投資証券」 ・ルクセンブルグ籍ユーロ建て外国投資法人「シュローダー・インターナショナル・セレクション・ファンド ユーロ・リクイディティ クラスI 投資証券」 ・ルクセンブルグ籍米ドル建て外国投資法人「シュローダー・インターナショナル・セレクション・ファンド ドル・リクイディティ クラスI 投資証券」 上記の指定投資信託証券を主要投資対象とします。
組 入 制 限	投資信託証券への投資割合には制限を設けません。また、外貨建資産への投資割合には制限を設けません。

○最近 5 期の運用実績

決 算 期	基 準	価 額		投 資 信 託 証券 率	純 資 産 額
		期 騰 落	中 率		
9 期(2022年 6 月 3 日)	円		%	%	百万円
	16,715		8.8	97.8	4,010
10期(2023年 6 月 5 日)	18,303		9.5	96.9	3,398
11期(2024年 6 月 3 日)	22,816		24.7	97.6	3,476
12期(2025年 6 月 3 日)	22,664		△ 0.7	96.9	2,838
13期(2026年 6 月 3 日)	29,267		29.1	97.4	3,050

(注) 基準価額は 1 万口当たり。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額		投 資 信 託 証券 率
		騰 落	率	
(期 首)	円		%	%
2025年 6 月 3 日	22,664		—	96.9
6 月末	23,452		3.5	98.2
7 月末	24,447		7.9	98.3
8 月末	24,490		8.1	96.7
9 月末	25,297		11.6	97.6
10月末	26,400		16.5	97.2
11月末	27,019		19.2	98.3
12月末	27,376		20.8	98.4
2026年 1 月末	27,681		22.1	97.8
2 月末	28,359		25.1	97.6
3 月末	27,498		21.3	97.5
4 月末	28,677		26.5	98.1
5 月末	28,999		28.0	97.4
(期 末)				
2026年 6 月 3 日	29,267		29.1	97.4

(注) 基準価額は 1 万口当たり。

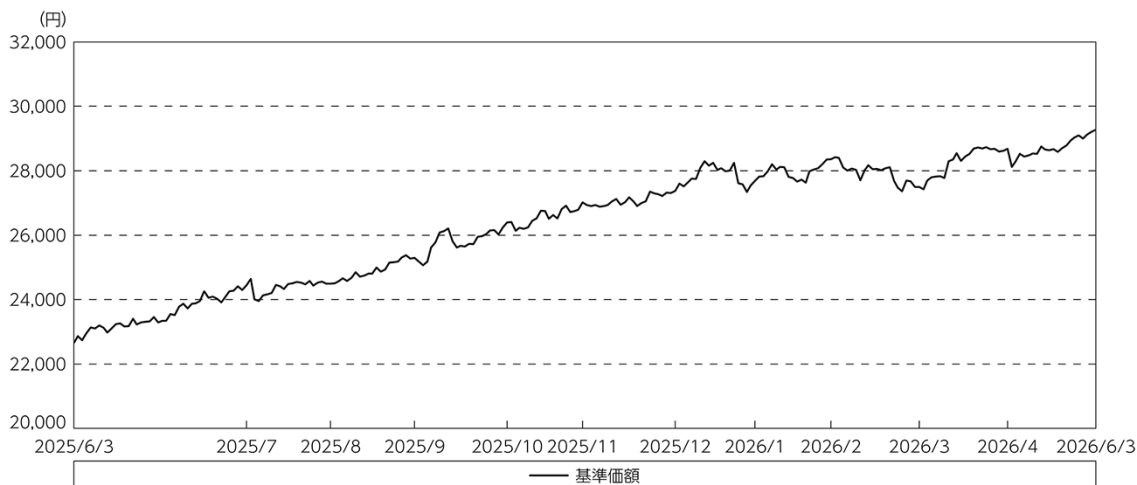
(注) 騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは、主に有価証券に投資する投資信託証券への投資を行い、複数のインカムアセット（世界の高配当株式、債券等）に投資を行います。
当ファンドの値動きを表す適切な指標が存在しないため、ベンチマーク等は設けておりません。

○運用経過

(2025年6月4日～2026年6月3日)

期中の基準価額等の推移



(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指標が存在しないため、ベンチマーク等は設けておりません。

○基準価額の主な変動要因

期首22,664円でスタートした基準価額は、29,267円で期末を迎え、期首比29.1%の上昇となりました。

当期、マザーファンドの主要投資対象ファンド（米ドルベース）はプラスのリターンとなりました。

米国関税政策を巡る不確実低下や好調な企業業績の発表、人工知能（AI）関連分野の発展期待などを背景に投資家がリスク選好姿勢を強めたため、高配当株式の組入れはパフォーマンスにプラスに寄与しました。債券資産については、リスク性資産が堅調に推移する環境下、投資適格社債やハイイールド債券、新興国債券の保有が総じてプラス効果となりました。

投資環境

当期、世界株式は上昇しました。2025年6月に中東情勢の悪化等の影響により方向性の欠ける局面もありましたが、その後は、米国が各国と貿易協議を進展させたこと、一部米国経済指標の悪化を背景に米連邦準備制度理事会（FRB）の積極的な利下げ期待（9月の米連邦公開市場委員会（FOMC）で利下げを再開）が広がったこと等から投資家のリスク選好姿勢が高まり、7月以降は上昇基調を辿りました。11月は、AI関連銘柄のバリュエーション高騰を巡る懸念が高まったことでボラティリティ（変動性）が高まる局面もありましたが、FRBが利下げを進展するとの見方や、AIを巡る投資家の期待感などが支援材料となり2026年2月下旬まで、上昇基調を維持しました。3月に入ると中東情勢の悪化に伴い下落する局面もありましたが、その後は中東情勢の解決に対する期待感やAI分野に対する根強い期待感なども支援材料となり反発に転じ、株式市場は前期末比で上昇して当期を終えました。

債券については、米国では長期金利は前期末比で小幅に上昇（債券価格は下落）しました。2025年6月、中東情勢の悪化を背景とした安全資産需要の高まりなどから、米国長期金利は低下（債券価格は上昇）基調となりましたが、7月は投資家のリスクセンチメントの改善、米国の財政赤字に対する懸念から上昇する局面がありました。8月、米国雇用統計が労働市場の低迷を示唆したことでFRBの利下げ期待が高まり、米国長期金利は低下しました。その後も、FRBの利下げ期待の進展、次期FRB議長にハト派的な人物が選出されるとの憶測から低下基調となりました。その後、2026年3月には、中東情勢の悪化を背景とした原油価格の上昇、それに伴うインフレ警戒感から、金利は大幅に上昇し、最終的に前期末比で小幅な上昇となり当期を終えました。日本やドイツでは長期金利の上昇幅は相対的に大きくなりました。欧州では防衛費増額や国債発行増額に対する注目が高まっているほか、欧州経済の輸入エネルギーに対する依存度の高さを背景に原油価格の上昇がインフレを招くとの見方が強まり、欧州中央銀行（ECB）による利上げ観測が進展しました。日本では自民党総裁選挙で高市氏が勝利し同氏が掲げる積極的な財政政策から財政悪化懸念が高まったほか、日本銀行がビハインドザカーブに陥る（後手に回る）との警戒感も浮上しました。

当ファンドのポートフォリオ

当期、高配当株式については継続的にエクスポージャーの調整を行いました。2025年6月、トランプ政権による規制緩和、高金利環境が追い風になると判断して、米国金融セクター株式を組み入れたほか、7月には相対バリュエーションからドイツ株式において大型株式から中型株式に入れ替えを行いました。8月には米国株式において、情報技術セクターからディフェンシブ性を評価した公益事業セクター株式に一部入れ替えを行ったほか、10月には一部の新興国株式を米国ヘルスケアセクター株式に入れ替えしました。12月、利益確定を企図して金鉱株式の保有を一部削減しました。2026年1月、日本株式の一部を欧州防衛関連株式に入れ替えしました。欧州での防衛費拡大から長期的に需要が増し、堅調な成長につながると判断しました。また、大型ハイテク銘柄から資金シフトが発生した際に恩恵を受けるとみて、米国小型株式のポジションを追加しました。2月には、日本の銀行関連株式を削減し利益確定を行いました。4月には、バリュエーション上の割高感が緩和したとみて、米国情報技術セクターの組入比率を引き上げたほか、イールドカーブのスティーピングから恩恵を受けると期待し、米国金融セクターに対しても追加投資を行いました。また、5月には欧州銀行セクター株式へ投資を行いました。

債券については、2025年7月、マクロファンダメンタルズが改善し、インフレも安定傾向にある新興国のソブリン債（現地通貨建て）を積み増したほか、米国労働市場を巡る懸念が高まった8月に米国ハイイールド債券のエクスポージャーを一部削減しリスクヘッジを行いました（その後、9月にヘッジを解消）。11月中には、米国ハイイールド債券の保有を一部削減し、米国投資適格社債に入れ替えを行いました。その後、2026年1月に米国デュレーションを削減したほか、3月にハイイールド債券の保有を一部削減しました。

当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドの値動きを表す適切な指標が存在しないため、ベンチマーク等は設けておりません。

○今後の運用方針

政治動向が引き続きニュースの見出しを支配しています。米国は当初、イランに対して無条件降伏を求めていましたが、現在ではホルムズ海峡の再開につながる一方で、イラン側にも金銭面を含むいくつかの「勝利」をもたらす合意に達しています。当運用チームでは2026年4月中旬以降、中東紛争およびそれに伴うガソリン価格の上昇が米国の有権者から非常に不評である点を踏まえ、トランプ大統領にはできるだけ早期にこの紛争を終結させたい意図が働くだろうと想定しました。中間選挙が近づく中、共和党は下院のみならず上院も失うリスクに直面しています。この状況が、トランプ大統領に今回の合意を受け入れさせた要因であると考えられます。また、中間選挙と金融政策の関係について考えることも重要です。FRBの新議長であるケビン・ウォーシュ氏は従来よりタカ派的な姿勢を示しているものの、トランプ大統領がウォーシュ氏を議長に任命した主な理由の一つは、より低い金利環境を実現することにあります。特に、トランプ大統領が生活費負担の問題に真剣に取り組んでいることを有権者に示す必要があり、住宅ローン金利の引き下げは、粗削りではあるものの効果的な手段となり得ます。こうした点を踏まえると、ウォーシュ氏は、自身のよりハト派的なスタンスを強く働きかける可能性が高いと考えられます。また、労働市場にさらなる弱さの兆候が見られれば、この目標を達成する可能性は一段と高まると考えます。総じて、中東紛争の終結とハト派的なFRB議長という組み合わせは、株式市場にとってポジティブな要因であると考えられます。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2025年 6 月 4 日～2026年 6 月 3 日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用	円 0	% 0.002	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(0)	(0.002)	・保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	・その他は、グローバルな取引主体識別子（LEI: Legal Entity Identifier）登録費用等
合 計	0	0.002	
期中の平均基準価額は、26,641円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券（投資証券等を含む）が支払った費用を含みません。

(注) 各比率は 1 万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第 3 位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2025年 6 月 4 日～2026年 6 月 3 日)

投資信託証券

銘 柄		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
外国	アメリカ		千米ドル		千米ドル
	シュロダー・インターナショナル・セレクション・ファンド グローバル・マルチ・アセット・インカム クラスJ	18,882	1,587	46,047	3,851

(注) 金額は受渡代金。

(注) 単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2025年 6 月 4 日～2026年 6 月 3 日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2026年6月3日現在)

外国投資信託証券

銘 柄	期首(前期末)		当 期 末		
	口 数	口 数	評 価 額		比 率
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)	口	口	千米ドル	千円	%
シュローダー・インターナショナル・セレクション・ ファンド ドル・リクイディティ クラス I	0.9	0.9	0.126	20	0.0
シュローダー・インターナショナル・セレクション・ ファンド グローバル・マルチ・アセット・インカム クラス J	241,819	214,653	18,565	2,970,290	97.4
合 計	口 数 ・ 金 額	241,819	214,654	18,565	2,970,310
	銘 柄 数 < 比 率 >	2	2	—	<97.4%>

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) < >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注) 単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

○投資信託財産の構成

(2026年6月3日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
投資証券	千円 2,970,310	% 97.4
コール・ローン等、その他	80,709	2.6
投資信託財産総額	3,051,019	100.0

(注) 金額の単位未満は切捨て。

(注) 当期末における外貨建純資産 (2,986,543千円) の投資信託財産総額 (3,051,019千円) に対する比率は97.9%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=159.99円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2026年6月3日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	3,051,019,611
コール・ローン等	64,474,796
投資証券(評価額)	2,970,310,475
未収配当金	16,233,281
未収利息	1,059
(B) 負債	615,976
未払解約金	615,976
(C) 純資産総額(A－B)	3,050,403,635
元本	1,042,280,928
次期繰越損益金	2,008,122,707
(D) 受益権総口数	1,042,280,928口
1万口当たり基準価額(C／D)	29,267円

[元本増減]

期首元本額	1,252,538,807円
期中追加設定元本額	10,362,858円
期中一部解約元本額	220,620,737円

[当マザーファンドの当期末における元本の内訳]

シュローダー・インカムアセット・アロケーション(毎月決算型)Aコース(為替ヘッジなし)	828,612,667円
シュローダー・インカムアセット・アロケーション(毎月決算型)Bコース(為替ヘッジあり)	13,138,626円
シュローダー・インカムアセット・アロケーション(1年決算型)Aコース(為替ヘッジなし)	171,539,820円
シュローダー・インカムアセット・アロケーション(1年決算型)Bコース(為替ヘッジあり)	28,989,815円

○損益の状況 (2025年6月4日～2026年6月3日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	194,608,893
受取配当金	194,389,608
受取利息	219,285
(B) 有価証券売買損益	556,541,066
売買益	556,777,002
売買損	△ 235,936
(C) 保管費用等	△ 55,792
(D) 当期損益金(A+B+C)	751,094,167
(E) 前期繰越損益金	1,586,175,581
(F) 追加信託差損益金	16,770,335
(G) 解約差損益金	△ 345,917,376
(H) 計(D+E+F+G)	2,008,122,707
次期繰越損益金(H)	2,008,122,707

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

<参考>マザーファンドが投資対象とする組入投資信託証券の内容

以下、当運用報告書作成期末時点でシュローダー・インカムアセット・アロケーション・マザーファンドが保有している各投資信託証券の直前の計算期間の内容を開示いたします。

「シュローダー・インターナショナル・セレクション・ファンド グローバル・マルチ・アセット・インカム クラスJ投資証券」の運用状況

<ファンドの概要>

形態	ルクセンブルグ籍外国投資法人／米ドル建て	
主な投資対象	世界の株式、債券、代替資産等	
運用の基本方針および主な投資制限	世界の様々な資産クラスへの分散投資を通じて、収益確保および中長期的な元本成長を目指します。 ※欧州委員会が制定した指令（UCITS指令）に準拠して分散投資を行います。 ■ ファンドはアクティブ運用され、直接またはデリバティブを通じて間接的に株式および株式関連証券、固定利付債券、代替資産（不動産、インフラ、未公開株、商品、貴金属、ヘッジファンド）へ投資します。代替資産への投資は投資適格資産に限りま。 ■ 投資適格未満（S&P グローバル・レーティングによる格付あるいは他社同等格付）の固定利付債券および変動利付債券や無格付け債券への投資割合は資産の50%以下とします。 ■ 新興市場における固定利付債券および変動利付債券への投資割合は資産の50%超となる場合があります。 ■ 資産担保証券および不動産担保証券への投資割合は資産の20%以下とします。 ■ 規制市場（ボンドコネクトまたはCIBMダイレクトを介したCIBMを含む）を通じて中国本土に資産の最大15%まで投資することがあります。 ■ 収益の追求、運用資産の価格下落リスクの抑制および資産の効率的な運用のため、デリバティブ取引（トータル・リターン・スワップを含む）を買い建て、売り建て共に活用することがあります。 ■ トータル・リターン・スワップや差金決済取引は、株式および株式関連証券、固定利付債券や変動利付債券もしくは商品先物指数の買い建て、売り建てに使われることがあり、原則として資産の20%に収まる範囲で活用し、最大でも資産の30%を超えることはありません。また、当該スワップの原資産はファンドの投資対象資産に限定します。 ■ 投資信託証券への投資割合は、資産の10%以下とします。 ■ 短期金融商品に投資し、現金を保有することがあります。 ■ 投資運用会社の評価方式に基づき、MSCI AC World Index (USD) の30%、Barclays Global Aggregate Corporate Bond Index (USD) の40%、Barclays Global High Yield excl CMBS & EMG 2% index (USD) の30%よりも総合して高いサステナビリティ・スコアを維持します。（投資プロセスは交付目論見書「追加的記載事項」に掲載の「サステナビリティ基準」をご参照ください。） ■ ファンドは投資運用会社のウェブページ（https://www.schroders.com/en-lu/lu/individual/fund-centre/）に掲げる「サステナビリティ関連開示」に記載される上限を超えて特定の活動、業界または発行体グループへの直接投資は行いません。	
投資運用報酬	ありません。	
管理報酬等	ファンドの純資産総額に対して年率0.08%程度（実績値）を管理報酬、保管報酬、弁護士費用、および監査費用等の精算にあてております。この料率は運用・管理状況等によって変動することがあります。	
決算日	12月31日	
設定日	2013年5月22日	
ファンドの関係法人	管理会社	シュローダー・インベストメント・マネージメント（ヨーロッパ）エス・エイ
	投資運用会社	シュローダー・インベストメント・マネージメント・リミテッド
	保管会社	J. P. モルガン・エスイー、ルクセンブルグ支店

（注）以下の内容は、シュローダー・インターナショナル・セレクション・ファンド グローバル・マルチ・アセット・インカムの全てのクラスを合算しております。

（注）以下の内容は、シュローダー・インベストメント・マネージメント（ヨーロッパ）エス・エイから入手した財務書類の一部を抜粋したものです。

シュローダー・インターナショナル・セレクション・ファンド・グローバル・マルチ・アセット・インカム

Statement of Operations for the Year Ended
31 December 2025

Schroder ISF
Global Multi-Asset Income
USD

NET ASSETS AT THE BEGINNING OF THE YEARS	826,932,519
INCOME	
Dividend income, net of withholding taxes	12,225,474
Interest income from investments, net of withholding taxes	27,716,984
Interest on swap contracts	-
Bank interest	795,161
Other income	-
TOTAL INCOME	40,737,619
EXPENSES	
Management fees	10,263,585
Administration fees	1,899,503
Taxe d'abonnement	389,776
Depository fees	149,828
Distribution fees	915,654
Bank and other interest expenses	86
Interest on swap contracts	813,200
Operating expenses	350,684
TOTAL EXPENSES	14,782,316
Less: Expense subsidy	-
NET INVESTMENT INCOME/(LOSS)	25,955,303
Net realised gain/(loss) on:	
Sale of investments	38,931,054
Options contracts	(888,926)
Financial futures contracts	(4,296,462)
Forward currency exchange contracts	22,286,608
Swaps contracts	(2,042,531)
Currency exchange	644,370
NET REALISED GAIN/(LOSS) FOR THE YEAR	54,634,113
Net change in unrealised appreciation/(depreciation) on:	
Investments	72,994,367
Options contracts	(22,737)
Financial futures contracts	1,298,155
Forward currency exchange contracts	(3,089,011)
Swaps contracts	2,175,213
Currency exchange	224,469
NET CHANGE IN UNREALISED APPRECIATION/(DEPRECIATION) FOR THE YEAR	73,580,456
INCREASE/(DECREASE) IN NET ASSETS AS A RESULT OF OPERATIONS	154,169,872
Subscriptions	295,851,265
Redemptions	(349,346,689)
INCREASE/(DECREASE) IN NET ASSETS AS A RESULT OF MOVEMENTS IN SHARE CAPITAL	(53,495,424)
Dividend distributions	(38,849,730)
NET ASSETS AT THE END OF THE YEAR	888,757,237

【上位10銘柄】

(2025年12月31日現在)

	銘柄名	通貨	種別	業種	比率 (%)
1	Schroder ISF Multi-Asset Growth and Income - Class I Distribution USD	米ドル	外国投資証券	投資ファンド	5.04
2	Schroder ISF Emerging Markets Multi-Asset - Class I Distribution USD	米ドル	外国投資証券	投資ファンド	3.08
3	Schroder GAIA Cat Bond - Class I Accumulation USD	米ドル	外国投資証券	投資ファンド	1.56
4	South Africa Government Bond 9% 31/01/2040	南アフリカランド	外国債券	金融	1.17
5	Mexican Bonos Desarr Fixed Rate (MEXICO) 7.75% 23/11/2034	メキシコペソ	外国債券	金融	0.79
6	Brazil Notas do Tesouro Nacional 100% 01/01/2033	ブラジルレアル	外国債券	金融	0.80
7	Alphabet, Inc. 'A'	米ドル	外国株式	通信サービス	0.78
8	GTC Finance DAC, Reg. S 6.5% 15/10/2030	ユーロ	外国債券	不動産	0.78
9	Microsoft Corp.	米ドル	外国株式	情報技術	0.75
10	Turkiye Government Bond 37% 18/02/2026	トルコリラ	外国債券	金融	0.67
				銘柄数	1,242

「シュローダー・インターナショナル・セクション・ファンド ドル・リクイディティ クラスⅠ投資証券」の運用状況

＜ファンドの概要＞

形 態	ルクセンブルグ籍外国投資法人／米ドル建て	
主 な 投 資 対 象	米ドル建ての短期金融資産	
運 用 の 基 本 方 針 および主な投資制限	ファンドはアクティブ運用され、主として米ドル建ての短期金融資産（S&P グローバル・レーティングによる投資適格以上あるいは管理会社の内部格付調査において取得した他社同等格付以上）への投資を通じて、流動性の確保と元本の保全を目指します。これらの証券は、取得時において、当初から又は残存期間が12ヶ月以内であること（付随する金融商品を検討にされる）、もしくは採用金利が少なくとも市況に応じて年次で調整され残存期間が2年以内であるものを前提とします。 ※元本の保全と流動性の確保を保証するものではありません。 ※欧州委員会が制定した指令（UCITS指令）に準拠して分散投資を行います。 ■為替変動リスクおよび金利変動リスクのヘッジのため、デリバティブ取引を活用することがあります。 ■現金を保有し、金融機関へ預金することがあります。	
投 資 運 用 報 酬	ありません。	
管 理 報 酬 等	ファンドの純資産総額に対して年率0.05%程度（実績値）を管理報酬、保管報酬、弁護士費用、および監査費用等の精算にあてております。この料率は運用・管理状況等によって変動することがあります。	
決 算 日	12月31日	
設 定 日	2002年7月4日	
ファンドの関係法人	管 理 会 社	シュローダー・インベストメント・マネージメント（ヨーロッパ）エス・エイ
	投資運用会社	シュローダー・インベストメント・マネージメント・ノースアメリカ・インク
	保 管 会 社	J. P. モルガン・エスイー、ルクセンブルグ支店

（注）以下の内容は、シュローダー・インターナショナル・セクション・ファンド ドル・リクイディティの全てのクラスを合算しております。

（注）以下の内容は、シュローダー・インベストメント・マネージメント（ヨーロッパ）エス・エイから入手した財務書類の一部を抜粋したものです。

シュローダー・インターナショナル・セレクション・ファンド ドル・リクイディティ

Statement of Operations for the Year Ended
31 December 2025

Schroder ISF US Dollar Liquidity
USD

NET ASSETS AT THE BEGINNING OF THE YEAR\$	582,562,390
INCOME	
Dividend income, net of withholding taxes	-
Interest income from investments, net of withholding taxes	21,942,631
Interest on swap contracts	-
Bank interest	2,094,897
Other income	-
TOTAL INCOME	24,037,528
EXPENSES	
Management fees	835,735
Administration fees	277,127
Taxe d'abonnement	57,451
Depository fees	36,512
Distribution fees	-
Bank and other interest expenses	-
Interest on swap contracts	-
Operating expenses	99,396
TOTAL EXPENSES	1,306,221
Less: Expense subsidy	-
NET INVESTMENT INCOME/(LOSS)	22,731,307
Net realised gain/(loss) on:	
Sale of investments	5,896
Options contracts	-
Financial futures contracts	-
Forward currency exchange contracts	438
Swaps contracts	-
Currency exchange	(142,661)
NET REALISED GAIN/(LOSS) FOR THE YEAR	(136,327)
Net change in unrealised appreciation/(depreciation) on:	
Investments	(24,129)
Options contracts	-
Financial futures contracts	-
Forward currency exchange contracts	48
Swaps contracts	-
Currency exchange	4
NET CHANGE IN UNREALISED APPRECIATION/(DEPRECIATION) FOR THE YEAR	(24,077)
INCREASE/(DECREASE) IN NET ASSETS AS A RESULT OF OPERATIONS	22,570,903
Subscriptions	498,144,639
Redemptions	(542,298,188)
INCREASE/(DECREASE) IN NET ASSETS AS A RESULT OF MOVEMENTS IN SHARE CAPITAL	(44,153,549)
Dividend distributions	-
NET ASSETS AT THE END OF THE YEAR	560,979,744

Portfolio of Investments of the Year Ended 31 December 2025

Investments	Currency y/Nominal Value		MarketValueUSD	% ofNet Assets
Transferable securities and money market instruments admitted to an official exchange listing				
Bonds				
Financials				
US Treasury Bill 0% 08/01/2026	USD	36,361,000	36,339,834	6.49
US Treasury Bill 0% 26/02/2026	USD	33,750,000	33,567,050	5.98
US Treasury Bill 0% 12/03/2026	USD	33,798,000	33,568,447	5.98
			103,475,331	18.45
Total Bonds			103,475,331	18.45
Total Transferable securities and money market instruments admitted to an official exchange listing			103,475,331	18.45
Transferable securities and money market instruments dealt in on another regulated market				
Bonds				
Financials				
US Treasury Bill 0% 02/01/2026	USD	44,817,000	44,817,000	7.98
US Treasury Bill 0% 05/02/2026	USD	38,174,000	38,046,354	6.78
US Treasury Bill 0% 17/03/2026	USD	32,500,000	32,264,931	5.75
US Treasury Bill 0% 28/05/2026	USD	33,606,000	33,128,959	5.91
US Treasury Bill 0% 18/06/2026	USD	36,990,000	36,388,774	6.49
			184,646,018	32.91
Total Bonds			184,646,018	32.91
Commercial Papers				
Financials				
BPCE SA 0% 25/03/2026	USD	25,000,000	24,780,318	4.42
DNB Bank ASA 0% 15/05/2026	USD	25,000,000	24,651,473	4.39
Mizuho Bank Ltd. 0% 12/01/2026	USD	25,000,000	24,968,669	4.46
MUFG Bank Ltd. 0% 22/04/2026	USD	25,000,000	24,704,290	4.40
Santander UK plc 0% 03/02/2026	USD	25,000,000	24,911,380	4.44
Standard Chartered Bank 0% 23/02/2026	USD	25,000,000	24,856,300	4.43
Toronto-Dominion Bank 0% 12/01/2026	USD	25,000,000	24,968,167	4.45
Westpac Banking Corp. 0% 28/05/2026	USD	25,000,000	24,619,543	4.39
			198,460,140	35.38
Industrials				
Honeywell International, Inc. 0% 05/01/2026	USD	25,000,000	24,986,955	4.45
			24,986,955	4.45
Total Commercial Papers			223,447,095	39.83
Total Transferable securities and money market instruments dealt in on another regulated market			408,093,113	72.74
Total Investments			511,568,444	91.19
Cash			49,676,405	8.86
Other assets/(liabilities)			(265,105)	(0.05)
Total Net Assets			560,979,744	100.00